

関門航路〔南東水道地区〕潜水探査及び浚渫工事のお知らせ

今般、下記により関門航路〔南東水道地区〕の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近海域の航行船舶は、十分な注意と作業へのご協力をお願い致します。

1. 工事作業期間について(気象等の影響により幾弱変わる事があります。)

地区名	種別	作業船種	隻数	区分	予定期間	作業時間	警戒船
南東水道地区	潜水探査	潜水士船	16隻(最大)	4・5工区	H27.8中旬~H27.9中旬	日の出~日没	4隻
				6・7工区	H27.12中旬~H28.1中旬		
	浚渫船	ドラグサクシオン式浚渫船	1隻	4・5工区	H27.9下旬~H28.1下旬	昼・夜	-
				6・7工区	H28.1下旬~H28.3下旬		

※予定期間の詳細又は変更については、関門航路事務所ホームページにてお知らせします。
(<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon/>)

2. 工事作業の場所……………南東水道地区(図-1参照)

3. 工事作業の概要及び安全対策

3-1 潜水探査

- 潜水士船は最大16隻を航路に平行になるように配置します。(図-2参照)
- 潜水士船1隻に1名の潜水士を投入します。
- 潜水士船には、国際信号旗「A旗」を示す信号板を揚げ、潜水探査中であることを明示します。(図-3参照)
- 潜水探査作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を揚げた警戒船4隻(内1隻は国際VHF無線を装備したもの)を配置します。(図-2、4参照)
- 潜水作業中は、作業区域の四隅及び長さ方向が300mを超える場合は中間に俵ブイを配置します。(図-2、5参照)
- 航路中心線から北側で潜水探査を行っているとき、1万GT以上の西航船がある場合は、航路外に退避します。また、航路中心部から南側で潜水探査を行う場合、1万GT以上の東航船がある場合は航路外に退避します。なお、退避の際は俵ブイも撤去します。
- 現地の天候により危険と判断した場合は作業を中止します。
(視界2,000m未満、波高0.7m以上、風速10.0m/sec以上)

3-2 浚渫工事

- 国有ドラグサクシオン式浚渫船『海翔丸』にて、航路に平行に浚渫工事を実施します。
(図-6、7参照)
- 浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火及び形象物を揚げ、浚渫工事中であることを明示します。(図-8参照)

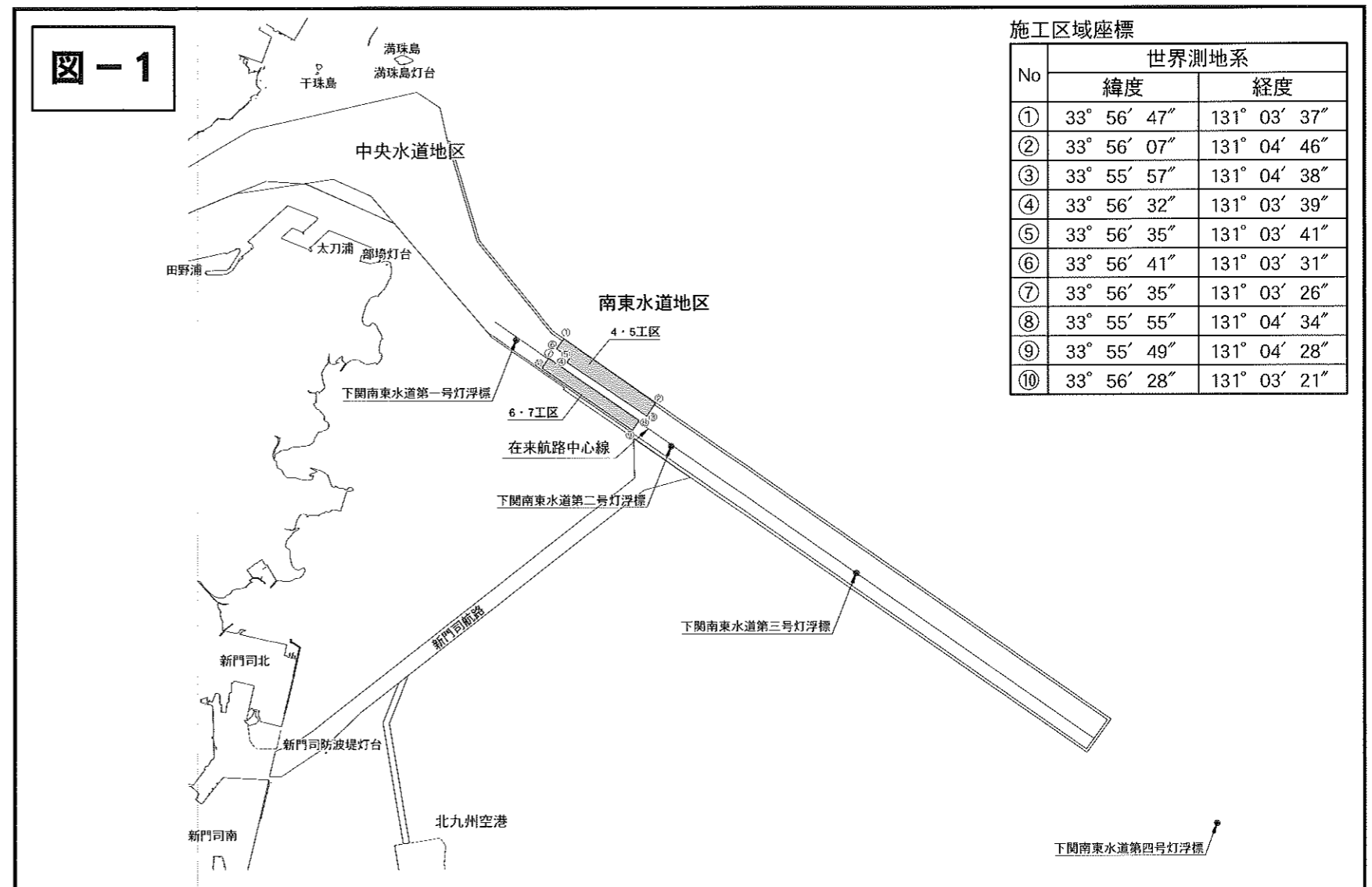
4. 情報の提供

作業情報は、下記で取り扱っています。

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目7-38

関門航路事務所 建設管理官室

TEL 093-512-8099 FAX 093-512-8106



No	世界測地系	
	緯度	経度
①	33° 56' 47"	131° 03' 37"
②	33° 56' 07"	131° 04' 46"
③	33° 55' 57"	131° 04' 38"
④	33° 56' 32"	131° 03' 39"
⑤	33° 56' 35"	131° 03' 41"
⑥	33° 56' 41"	131° 03' 31"
⑦	33° 56' 35"	131° 03' 26"
⑧	33° 55' 55"	131° 04' 34"
⑨	33° 55' 49"	131° 04' 28"
⑩	33° 56' 28"	131° 03' 21"

